

[科目名] 応用ミクロ経済学				[単位数] 4単位		[科目区分] 専門科目 基幹科目	
[担当者] 河野秀孝		[オフィス・アワー] 時間:月曜から金曜 (毎日午後3時から5時まで、 その他の時間帯はメールでアポを取ってください)。 場所:508 研究室			[授業の方法] 講義		
[科目の概要] 本講義では、皆さんがミクロ経済学で、既に履修済みの基本的モデルの応用側面に焦点をあてます。我々にとって有用であるものはすべて「希少」です。これは天然資源に限られたことではありません。「希少性」は自ずと「(取捨) 選択」(即ち、「意思決定」) を不可避とします。また、「選択」や「意思決定」はその選択をする個人や組織の「目的」、「選択基準」、や「価値観」、や「価値体系」の明確化を必然的なものとします。応用ミクロ経済学では、このように「希少性」(即ち、制約条件) のもとでの「選択」問題を、論理的に、しかも、さまざまな問題に応用できるように、統一的に履修します。ミクロ経済学の分析概念、思考の枠組み、分析手法、予測の組み立て方、即ち、「科学する視点と方法」とその有用性を、さまざまな諸問題解決への応用を通じて学びます。また、近年の目覚ましい理論及び実証モデルの発展にも言及し、経済学の観点から、統一的・論理的分析ができるようになる事を目指します。							
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] 応用ミクロ経済学は、皆さんがこれまで履修した経済理論、特にミクロ経済学の応用で、毎日の経済現象を題材とした体系的論理的思考の訓練です。また、代表的モデルを思考の枠組みとして学習しながら、論理的思考を受身的に学ぶのではなく、少数の基本的概念から、少し進んだ分析的物語(モデル構築)を学生の皆さん各自が自力で作成できるようになることを念頭に、授業を進めるつもりです。簡単な論理的枠組みといえども、目的に応じた分析的物語作成の際、強力な力を発揮することを味わって頂きたい。さらに、一見すれば、正しいまともな議論と思われるものでも、必ずしも説得力が充分であるとは限らないことにも気づいてください。昨今、「説明責任の重要性」がますます認識される中、論理的思考力を高めることは、官民間問わず、ますます重要になって来ると考えます。講義を通じて、まずは、論理的思考の楽しさを味わってください。							
[科目の到達目標] 私たちが住んでいる今日の世界では、経済に関する諸問題は、日々マスコミのニュースにもなっています。この事は、私たちの日常生活までも、経済的側面から多大なる影響を受けていることを示しているのです。本講義は、日々の私たちの生活への影響を、身近な事例として考えながら、皆さんを取り巻く経済の諸問題を統一的に理解・分析できるようになることを目的とします。							
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]							
経営経済学部				経済学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3 ○	
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] 授業をこれまで以上に分かりやすくするために、以下の改善・工夫をします。 1. 具体的例を出来るだけ多くする。 2. 重要なところは反復をする。 3. 定期的に講義の要点をもとに、宿題を課す。各自の理解度を認識してもらう。							
[教科書] ハル・R・ヴァリアン著 佐藤隆三監訳『入門ミクロ経済 [原著第9版]』勁草書房、2015年。							

ISBN 978-4-326-95132-1

〔指定図書〕

ポール・ミルグロムとジョン・ロバーツ（訳 奥野正寛 他）「組織の経済学」NTT 出版、1997 年

〔参考書〕ポール・ミルグロムとジョン・ロバーツ（訳 奥野正寛 他）「組織の経済学」NTT 出版、1997 年

〔前提科目〕

経済学基礎論、経営経済数学、ミクロ経済学、マクロ経済学。

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

1 回の定期試験（期末）により、成績を評価します。毎回、出席状況を学生証で機材登録します。成績評価の基準は概ね以下の通りです。

A：80%以上

B：70%以上80点未満

C：60%以上70点未満

D：50%以上60点未満

F：50%未満

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

当科目は、経済学科で学ぶ他の科目分野の導入教育としても重要なものです。皆さんには、様々な社会的課題に対する分析的手法としての経済学的思考の訓練として考えてもらいたい。また、経済的論理の展開とその応用を身につけるためにも、皆さんは、特に授業後の復習を十分にやって、次の授業への準備としてください。

〔実務経歴〕

製造業での実務経験を活かし、私たちの生活の身近な事例を考えながら、経済の諸問題を統一的に理解・分析できるようになることを目的とします。

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): 9章 売買 内 容: * 純需要と祖需要 * 初期保有の価値を考慮した予算制約 教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: * 初期保有量の変化 * 価格の変化 教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: * 初期保有所得効果を顧慮したスルツキー方程式 * 通常の所得効果 * 初期保有所得効果 * 価格変化の需要に及ぼす効果 教科書・指定図書

第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 10章 異時点間の選択</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> * 多期間にわたる消費者選択に関する消費者行動の分析 * 異時点間の予算線と選択 * 現在価値と将来価値 <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> * スルツキー方程式と異時点間の選択 <p>教科書・指定図書</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> * 異時転換の予算線とインフレーション * 実質利子率、名目利子率と期待インフレの関係 <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 11章 資産市場</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> * 不確実性のない資産市場 * 資産間の裁定取引によって、全ての資産は同一の収益率を生む <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> * 資産市場の均衡と裁定取引非存在条件 <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> * 応用として、持ち家と借家、石油価格の水準、資産としての森林伐採の時期 <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 9章、10章、11章の復習と応用問題(1)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 9章、10章、11章の復習と応用問題(2)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 9章、10章、11章の復習と応用問題(3)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 26章 独占行動</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> * 費用最小化と利潤最大化の関係 * 2段階利潤最大化 <p>教科書・指定図書</p>

第 14 回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> *完全競争市場の利潤最大化 *独占・独占的市場の利潤最大化 <p>教科書・指定図書</p>
第 15 回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> *一次価格差別、二次価格差別、三次価格差別 <p>教科書・指定図書</p>
第 16 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 27 章 要素市場</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> *生産物市場と要素市場が共に完全市場の場合の利潤最大化 <p>教科書・指定図書</p>
第 17 回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> *生産物市場は不完全で、要素市場が完全市場の場合の利潤最大化 <p>教科書・指定図書</p>
第 18 回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> *生産物市場も要素市場も共に不完全市場の場合の利潤最大化 <p>教科書・指定図書</p>
第 19 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 28 章 寡占</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> *数量先導の場合、シュタッケルベルグ・モデル <p>教科書・指定図書</p>
第 20 回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> *同時数量設定の場合、クールノー・モデル <p>教科書・指定図書</p>
第 21 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 26章、27章、28章の復習と応用問題 (1)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 22 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 26章、27章、28章の復習と応用問題 (2)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 23 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 26章、27章、28章の復習と応用問題 (3)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 24 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 33章 生産(一般均衡モデル)</p> <p>内 容:</p> <ul style="list-style-type: none"> *簡単な一般均衡経済(ロビンソン・クルーソー経済) <p>教科書・指定図書</p>

第 25 回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <p>* 2財1要素(労働)の一般均衡、リカードモデルと比較優位の原則</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 26 回	<p>テーマ(何を学ぶか):</p> <p>内 容:</p> <p>* 2財2要素の一般均衡、ヘクシャ・オリーンモデル</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 27 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 33章の復習と応用問題 (1)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 28 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 33章の復習と応用問題 (2)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 29 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 期末試験前復習 (1)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
第 30 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 期末試験前復習 (2)</p> <p>内 容:</p> <p>教科書・指定図書</p>
試 験	<p>学期末試験</p>